

# 基本計画の改定にあたって



八王子市長 石森考志

本市は、市政運営の基本的方針である基本構想と10か年を計画期間とする基本計画からなる「八王子ビジョン2022」を平成25年に策定し、「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」を基本理念に、市民と行政が互いの役割と責任ある行動により豊かな地域社会を築く協働のまちづくりをすすめ、「活力ある魅力あふれるまち」の実現に取り組んでまいりました。

基本計画のスタートから5年が経過する間、本市は、平成27年4月に都内初となる中核市へ移行し、平成29年に市制施行100年を迎えました。そこで、今回、新たな100年のスタートに合わせ、中核市移行により拡大した事務権限とこれまでの施策の取組状況を踏まえ、基本計画の改定を行いました。

私は、市長として市制施行100年という歴史的な年を機に、本市の歴史を振り返り、このまちを築き上げてきた先人たちのたゆみない努力に思いをさせ、次代を担う子どもたちが思い描くこのまちの未来の姿を共有することで、まちの更なる発展に向け決意を新たにしました。また、市民の皆様ご提案事業をはじめとする様々な記念事業を通じて、本市の「市民力・地域力」の素晴らしさを改めて実感するとともに、その力の更なる高まりを確信いたしました。

基本計画の後半5か年では、この本市が誇る「市民力・地域力」と中核市としての権限を一体化した行政運営により協働のまちづくりを推進し、長年社会を支えてきた高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続け、若い世代が住みたい、住み続けたいと思える、そして子どもたちが夢と希望をもって成長する、そんなまちを目指してまいります。

今、まさに新たな「輝きの100年」のスタートラインに立っています。私は、八王子の将来を見据え、「人づくり」と「まちづくり」に積極的に投資するとともに、市民視点に立った質の高い行政サービスとまちの魅力を高める戦略的な事業にバランスよく取り組み、多摩のリーディングシティとして、市民の皆様とともに夢と希望が持てる魅力あふれるまちを実現してまいります。

結びに、本計画の見直しにあたり多くの貴重なご意見をいただいた皆様にご心から感謝を申し上げます。

平成30年3月

